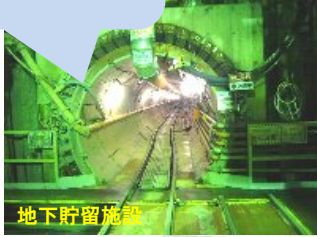


- ・昭和39年(1964年)に建築
- ・取水場から送られてきた原水は、いったん建物地下の吸水井へ導かれ、再び導水ポンプにて標高差40.5m、約1.6km先の柴原浄水場へと送られる

- ・直径2.4m長さ825mのトンネル(地下12m)
- ・5年理科の気象や4年社会の防災と密接に関わる(子どもの関心を高められる)



地下貯留施設



豊中市水道局石橋中継ポンプ場

・生き物は見当たらない



水路

・明治40年頃まで旧西国街道、旧能勢街道が交わる小川にかかっていた石橋



石橋

大阪池田線(中国道⇄阪高)



・様々な社名のトラック、行き先のバスが通過する交通の要衝



・池田市の保存樹林第一号



池田市保存樹林(第一号)



亀之森住吉神社

<亀之森神社の由緒>  
此の辺りは大昔には、広々とした入海でしたが、第十五代応神天皇の頃、忽然として亀形の小島が現われてより次第に土地が開け、第四十九代光仁天皇の御代、ある夜、里人の夢に「吾ハ住吉大神ナリ、汝等、吾ヲ信ズル者ハ、白箭(矢)ノ止ル処ヲ見ン」というお告げがありましたので、翌朝、里人等が集って、森に来てみると果してお告げの通りでした。里人らは驚き、畏み、かつ喜びまして、ここに住吉大神を奉したのであります。時に、光仁天皇宝元元年庚戌年(西暦七七年)でありました。爾来「風雨順に民豊ナリ依テ郡名ヲ豊島ト呼び、其里ヲ豊島ノ庄ト謂ヒ、世々亀之森住吉神社ト云フ」と社伝にありますように、豊島郡(今の豊中市、池田市の地域)の総鎮守、大産土神(うぶすなのかみ)として崇敬されてまいりました。(HPより)



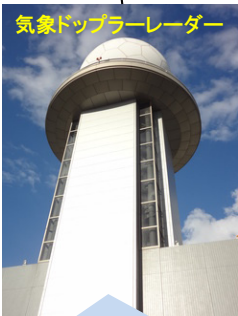
宮前池



第一パン



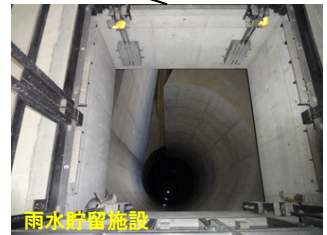
空港町宿舎



気象ドップラーレーダー



伊丹空港ヤード



雨水貯留施設



携帯基地局

・昨年近畿財務局が売却を発表

・降水の強さや降水域の気流の乱れの存在位置および強度を検出  
・5年生理科の教科書に掲載されている

・航空貨物の荷捌きが見られる